

第 18 回 自動車整備技術の高度化検討会 議事概要

【日 時】

令和元年 9 月 3 日（火）10：00～12：00

【場 所】

航空会館 201 会議室

1. 新たな標準仕様推進 WG（資料 1）

【報告概要】

- 令和元年度の活動方針と期待する成果、WG の今後一年間の進め方、WG のまとめを報告

《令和元年度の活動方針と期待する成果》

- 平成 29 年、30 年と継続してきたスキャンツール開発のための情報等提供の運用ルールの策定については昨年度までに完了。本年度はこれらのルールの施行状況の確認とツールメーカーと車両メーカー間の情報提供に関する契約・開発状況の確認を行い、そのような活動を通して、運用ルールの定着や汎用スキャンツールの開発促進を図る。

《WG の進め方》

- 昨年度までと同様、議長を自機工が務め、国交省、日整連、自工会、自機工で活動。
- 三つの大日程を提示。第一段階としては運用ルールの施行、現在車両メーカーの方で修正している契約書の修正が 10 月で完了する予定に伴い、その運用ルールの適用状況を確認。第二段階はツールメーカーの開発ステージとしてツールメーカー側の開発の進捗状況の調査を進める。その中で抽出された課題・論点等について標準仕様 WG の中で対応策を議論していくことが第三段階で、その結果によってはルールブックの変更や見直し等も想定。WG については 1.5 カ月に一度、3 カ月に平均二回くらいのペースで実施し、進捗状況の確認や課題の整理を進めていきたい。

《まとめ》

- これまでに策定した情報提供の運用ルールの定着を図り、スキャンツール開発促進のための施策を行うなかで、ルール適用状況や、ツールメーカーの開発の状況、契約状況の確認を実施する。
- ◆ 質疑応答
特になし。

2. 高度診断教育 WG からの報告（資料 2）

【報告概要】

- 高度診断教育 WG の報告及び今後の予定を報告

《これまでの流れ》

- 前回報告からの変更無しにつき割愛

《地方振興会における会員事業者向け ADAS 研修会》

- 令和元年度における開催予定の研修会としては、スキャンツール活用研修及び ADAS 研修それぞれで 207 回を予定。実施予定の振興会は 10 であるが、7 月末までに開催したのは 6 振興会。その理由は、法定研修及び日整連で実施予定の技能競技大会の地区大会の影響によるもの。
- 実施後の感想としては、特に特定整備に関する不安として作業場の面積等についての懸念が多かった。また、本来であれば 2 日間の予定が 1 回のみで開催など、参加者の応募が少なかった事例も見られた。これは、標準仕様のスキャンツールの中で対応可能なのは特定のメーカーの一部のみであり、他のメーカーでは実施できないことがネックになっている。
- ADAS 研修会に参加者が集まらないという事情は、地方ほどその傾向が見られ、スキャンツールや専用機器等、現状はメーカー別にバラバラになっているため、全て振興会で揃えて実施することは難しい。

《ADAS 研修等における今後の検討課題と対応案》

- これらの課題に対する対策として、定期的に行っている出席者の多い別研修と同時に実施する。あるいは 2021 年度の整備主任者技術研修をエーミング調整（小型車）の内容で実施する。
- スキャンツール及び専用機器等の整備については、標準仕様 WG と協力しながら、SST の共通化、流用性を検討する。

《今後の予定、スケジュール》

- 今後の予定として、現在実施しているレーザー方式車両での事業者向け研修会の開催を継続して実施する。それ以外の課題については、分析を継続する。また、ミリ波レーダーを使用した車に関しては標準仕様 WG と並行して進めていく。
- 質疑応答

※質疑議事概要参照

3. 特定整備制度の検討（非公開）

質疑概要

1. 新たな標準仕様推進 WG からの報告

特になし。

2. 高度診断教育 WG からの報告

発言者	内容
国交省 (井原)	昨年度行った研修の分析をしているが、必要がない研修を実施するのも良くない。逆に、ADAS 研修のうちどれが特定整備になるのか分からないという意見が多い中、特定整備を導入した際に、知らず知らずのうちに認証行為をしてしまうということもあるので、次年度の研修をどうするかを考えていただきたい。
日整連 (唯根)	承知した。今後も継続して検討していきたい。

3. 特定整備制度の検討（非公開）

発言者	内容
	資料に秘匿情報も含まれるため、委員の総意により非公表となった。